

# 刊行にあたって



北九州市環境局長  
久鍋和徳

本市は、昨年7月に低炭素社会の実現に向け、高い目標を掲げて先駆的な取組にチャレンジする「環境モデル都市」として国から認定されました。これを受けて、本年3月に行動計画「北九州グリーンフロンティアプラン」を策定し、関連事業を開始したところです。

低炭素社会づくりは、都市構造・産業構造・市民生活など全てを包含する社会変革運動であり、これを推進していく力は、一人ひとりの環境意識の変化であると考えています。すなわち、日常生活や企業活動の中で、より良い環境、より良い地域を創出していこうとする意識や能力を持ち、それを行動へつなげていく「市民環境力」が低炭素社会づくりを牽引していく原動力となるのです。

一方、昨年秋に発生した経済危機に対して、米国の「グリーンニューディール」政策をはじめ、地球温暖化対策などを機軸として経済回復を目指す政策が国内外で打ち出されています。

本市の「北九州グリーンフロンティアプラン」においても、低炭素社会に向けた経済・社会の変革を進めることで、市民一人ひとりが豊かな生活を営み、産業活動に活力を与え、人と人とがやさしくつながるまちを創造していくことを目指しています。

まさに時代を先導するプランであり、これに基づき事業を展開することが、低炭素社会づくりをリードしていくものと確信しています。

小誌は、平成20年度の本市の環境の現状と環境保全の施策をまとめたもので、市民・NPO、事業者等の皆様に広く活用され、本市の環境行政に対するご理解とご協力をいただければ幸いです。

平成21年9月